

大分市慢性腎臓病病診連携システム

大分市生活習慣病対策推進協議会にて(令和4年7月)
『エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018』に基づいて作成

1. 目的

大分市は人工透析患者の割合が高い水準にあることから、医師会や腎臓専門医の在籍する医療機関と協働しCKDの発症予防や悪化防止のための総合的な取り組みを行い、年間の新規人工透析患者の減少を目指します。

2. 腎専門医と病診連携医とは

病診連携医 (かかりつけ医)	●大分市慢性腎臓病病診連携システムに協力いただけるかかりつけ医
腎専門医	●公的病院または準公的病院(医師会立病院)に在籍する腎臓内科医師 ●日本腎臓学会の認定する腎臓病専門医師 ●大分市生活習慣病対策推進協議会で承認された医師

3. 腎専門医紹介基準

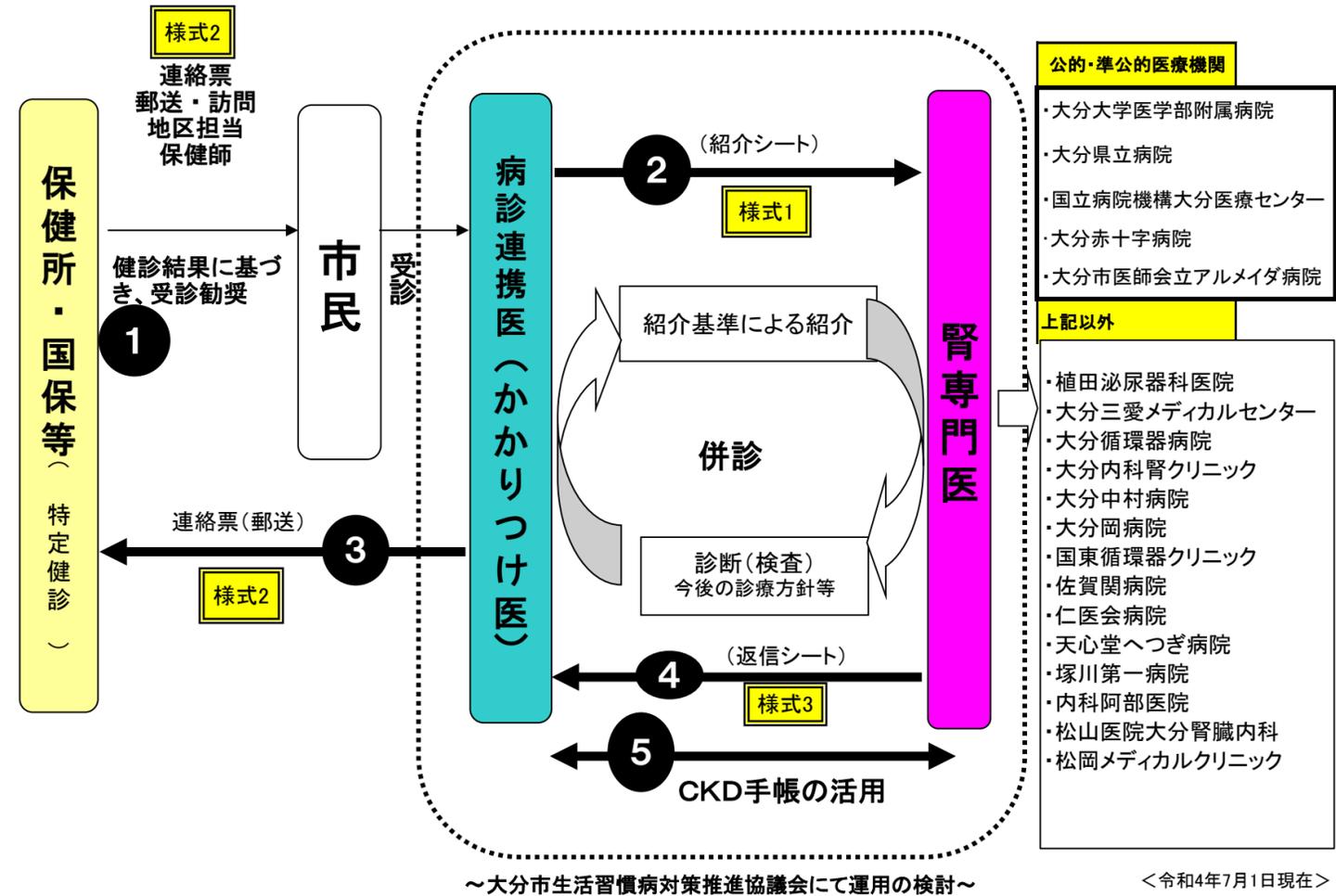
かかりつけ医で再検査を実施の上、①～⑤のいずれかに該当するもの	
①	持続してeGFR 45ml/min/1.73m ² 未満 ※40歳未満はeGFR60未満
②	3か月以内に、30%以上の eGFR の低下
③	持続して尿蛋白 + 以上
④	持続して尿蛋白(0.15~0.49g/日)かつ血尿が1+以上 (尿蛋白定量検査が望ましい)
⑤	2年以内に、30%以上のeGFRの低下

①～④ 『エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018』に基づいて作成
⑤ 『大分県糖尿病性腎症重症化予防プログラム』に基づいて作成

4. 各種シート

- ① 紹介シート 様式1
- ② 保健所への連絡票 様式2
- ③ 返信シート 様式3
- ④ CKD手帳 必要に応じて腎専門医、かかりつけ医から対象者へ配布

5. 大分市CKD病診連携システムの流れ



6. 連携の内容

- ① 保健所は、市民健診を受けた方で受診勧奨レベルの方に病診連携医(かかりつけ医)を紹介【対象者に連絡票を郵送または訪問にて渡し、病診連携医(かかりつけ医)への受診勧奨を行う】
- ② 病診連携医は、「紹介シート」により腎専門医に紹介
- ③ 病診連携医は、紹介情報を大分市保健所に連絡票(郵送)にて報告
- ④ 腎専門医は、「返信シート」により病診連携医に返信
- ⑤ 「CKD手帳」のコメント欄を用いて、病診連携医、腎専門医で情報のやりとり

※「紹介シート」、「返信シート」は、診療情報提供書として使用できます。
※「紹介シート」、「返信シート」、「保健所への連絡票」の各様式は大分市のホームページからダウンロード可能です。
※「病診連携医」「腎専門医」一覧につきましては大分市のホームページに掲載しております。
※システム対象者は市民健診受診者のみではありません。紹介基準に該当する方がいらっしゃいましたら、



大分市慢性腎臓病病診連携システム対象者のうち、原疾患に糖尿病がある場合には、各種ホームページをご参照ください。

- 大分県の糖尿病専門医(日本糖尿病学会)
<http://www.jds.or.jp/modules/senmoni/?ao=0&sf=2&sq=%E5%A4%A7%E5%88%86%E7%9C%8C>
- 大分大学医学部附属病院 糖尿病性腎症重症化予防専門外来
http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/gairai_senmon.html#tonyo